

自転車シミュレータを大分県交通安全協会に寄贈 ～大分県玖珠町で寄贈式を開催、地域の自転車事故防止啓発の一助に～

一般社団法人日本損害保険協会九州支部 大分損保会(会長：大西 章泰 損害保険ジャパン株式会社 大分支店長)では、2月2日(木)に大分県玖珠町の玖珠警察署で開催された寄贈式において、大西 大分損保会会長から大分県交通安全協会に自転車シミュレータを寄贈しました。大分県交通安全協会への寄贈は昨年度に続きの4台目となります。

日本損害保険協会では、免許制度なく気軽に乗れる自転車について、改めて安全利用や交通ルールを実践的に習得いただくために、全国の交通安全協会に対して自転車シミュレータを寄贈しております。

当日は、大分県交通安全協会 曾我部 章 玖珠支部長や副支部長の方々のほか、来賓として大分県警察 亀岡 和茂 玖珠警察署長等にご参加いただき、寄贈式が開催されました。

出席者の紹介に続き、挨拶に立った大西 大分損保会会長からは、大分県交通安全協会玖珠支部による交通事故防止に向けた献身的な尽力について敬意を表すとともに、寄贈機材を活用した自転車事故防止啓発活動のお願いを申し添え、目録を贈呈しました。

続いて、大分県交通安全協会の曾我部玖珠支部長からの感謝状の贈呈ののち、「寄贈を受けた自転車シミュレータを活用し、自転車の安全な運転の普及を図りたい」との決意表明をいただきました。また、亀岡玖珠警察署長からもご挨拶をいただきました。

損害保険会社では、1971年度から、強制保険である自賠責保険の運用益の一部を活用し、自動車事故の被害者保護や自動車事故の防止支援のための拠出事業を行っています。2022年度は拠出事業の一環として、全日本交通安全協会を通じて、大分県を含め10府県の交通安全協会に対して自転車シミュレータを寄贈しており、これまでの累計では全国に107台が配備され、ご活用いただいております。



目録贈呈 (右・曾我部支部長、左・大西会長)



寄贈式参加者集合写真